

この度は弊社製品をご購入頂き誠に有難うございます。

**はじめに、必ず本紙と取扱説明書をお読みご理解した上でご利用ください。
本冊子はいつでも見られる場所に大切に保管してください。**

【ご利用にあたって】

1. 本製品のデザイン・機能・仕様は性能や安全性の向上を目的に予告なく変更することがあります。
2. 本製品は著作権及び工業所有権によって保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。

【限定保証】

1. 弊社は本製品が頒布されているご利用条件に従って製造されたもので、付属の取扱説明書に記載された動作を保証致します。
2. 本製品の保証期間は購入戴いた日から1年間です。

【保証規定】

保証期間内でも次のような場合は保証対象外となり有料修理となります

1. 火災・地震・第三者による行為その他の事故により本製品に不具合が生じた場合
2. お客様の故意・過失・誤用・異常な条件でのご利用で本製品に不具合が生じた場合
3. 本製品及び付属品のご利用方法に起因した損害が発生した場合
4. お客様によって本製品及び付属品へ改造・修理がなされた場合

【免責事項】

弊社は特定の目的・用途に関する保証や特許権侵害に対する保証等、本保証条件以外のものは明示・黙示に拘わらず一切の保証は致し兼ねます。また、直接的・間接的損害金もしくは欠陥製品や製品の使用方法に起因する損失金・費用には一切責任を負いません。損害の発生についてあらかじめ知らされていた場合でも保証は致しかねます。

本製品は「現状」で販売されているものであり、使用に際してはお客様がその結果に一切の責任を負うものとします。弊社は使用または使用不能から生ずる損害に関して一切責任を負いません。

保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が転売された第三者には適用されません。よって転売による第三者またはその為になすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

本製品を使った二次製品の保証は致しかねます。

製品をご使用になった時点で上記内容をご理解頂けたものとさせていただきます

ご理解頂けない場合、未使用のまま商品到着後、1週間以内に返品下さい。代金をご返金致します。尚、返品の際の送料はお客様ご負担となります。ご了承下さい。

OE 変換ケーブル ご案内



On-chip Emulation Interface での書き込み

オンチップエミュレーション対応 I/F での書き込みについて

フラッシュメモリ内蔵マイコン オンボードプログラマ FLASHMATE5V1, FM-ONE では、本変換ケーブルを使用してオンチップエミュレーション対応CPUへのデバッグI/Fを使用した書き込みが可能です。開発時に使用したインターフェースで生産・保守までカバーすることが可能となります。

対応デバイス H8/36012・H8/36014・H8/36024・H8/36034・H8/36037・H8/36049・H8/36054・H8/36057・H8/36064・H8/36074・H8/36077・H8/36078・H8/36079・H8/36087・H8/36109・H8/3664・H8/3670・H8/3672・H8/3684・H8/3687・H8/3694・H8/36902・H8/36912・*H8/38002・H8/38004・H8/38024・H8/38076R・H8/38086R・H8/38102・H8/38104・H8/38124・H8/38324・H8/38327・H8/38344・H8/38347・H8/38424・H8/38427・H8/38444・H8/38447・H8/38602R の内蔵ROM
H8/3664N・H8/3687N の内蔵ROM及び E²PROM

使用するI/F (14P) 弊社 LILAC-T 及び ルネサステクノロジー製 E10T でのデバッグに対応しています。
ご利用可能な環境 FLASHMATE5V1 の下記の環境と FM-ONE でご利用可能です

コントロールソフト ver.1.3.1 以降
ファーム ver.2.00 以降
IPLMON ver.1.24 以降

対応ファイル形式 MOTファイル

- ◆ H8/3664N, H8/3687N への書き込みでは、内蔵ROM・E2PROM それぞれに別ファイルでご用意下さい
- ◆ 選択された2つのファイルはロード時点で1つのファイルに自動的に結合され、E²PROM への転送ファイルは内蔵フラッシュROMのアドレス範囲の次番地からへ置き換えられます
- ◆ H8/3664N, H8/3687N にて内蔵 E²PROM へ書き込むファイルは必ず 0-1FF 番地にてご用意下さい

ご利用方法について

CPU選択リストでは次の選択が可能です

※*は FLASHMATE5V1 のみ対応

H8/300H Tiny			H8/300H	H8/300L		書き込み領域
H8/36012OE	H8/36074OE	H8/3684OE	H8/38076OE	*H8/38002OE	H8/38347OE	内蔵フラッシュROMへの書き込み
H8/36014OE	H8/36077OE	H8/3687OE	H8/38086OE	H8/38004OE	H8/38424OE	
H8/36024OE	H8/36078OE	H8/3694OE	H8/38602OE	H8/38024OE	H8/38727OE	
H8/36034OE	H8/36079OE	H8/36902OE		H8/38102OE	H8/38444OE	
H8/36037OE	H8/36087OE	H8/36912OE		H8/38104OE	H8/38447OE	
H8/36049OE	H8/36109OE			H8/38124OE		
H8/36054OE	H8/3664OE			H8/38324OE		
H8/36057OE	H8/3670OE			H8/38327OE		
H8/36064OE	H8/3672OE			H8/38344OE		
H8/3664NOE H8/3687NOE						

オフラインでのご利用
…RS232C ケーブルを接続せず、本体とターゲットのみを接続頂く通常通りのご利用も可能です

注意!

- H8/3664N・H8/3687N にて内蔵フラッシュROMのみへ書き込む場合は必ず『H8/3664OE』、『H8/3687OE』を選択して下さい
 - H8/3664N で[H8/3664NOE]、H8/3687N で[H8/3687NOE]を選択した場合、フラッシュへの転送ファイル内で内蔵ROMのアドレス範囲を超えたデータは E²PROM へ書込まれます
- アップロードの際に、選択された2つのファイルは設定されたソース名で、1つのソースとしてLCDに表示されます
- ご利用は設定に関わらず高速ブートを使用し、クロック同期通信にて送信されます
 - データ転送時の最大転送レート・クロック同期式通信の転送レート設定は有効ですので適宜設定して下さい
 - 最大転送レートについては上限値となりますので最大値からのご検証をお勧めします

結線図

